

追加工特記仕様書

第1条 適用

- 1、この追加工特記仕様書は箕輪町が発注する「平成26年度 社会資本整備総合交付金事業 特環公共下水道雨水排水幹線開削ボックス工事」の施工に適用します。追加工特記仕様書に記載のない事項については下記に示す図書を適用するものとします。

土木工事共通仕様書 (平成26年8月 長野県土木部)

土木工事現場必携 (平成22年7月 長野県土木部)

長野県土木工事施工管理基準 (平成22年6月 長野県土木部)

施工条件明示書(特記仕様書)(別紙参照)

- 2、仕様書の記載内容の優先については、「追加工特記仕様書」、「特記仕様書」、「共通仕様書」の順によるものとします。

第2条 ボックスカルバート(施工に関する注意事項)

- 1、ボックスカルバート(交付金区間)の施工工法は、任意仮設です。なお標準工法では地権者の理解が得られないため、リフト車による施工としています。施工計画等工法検討する場合は、監督員に協議して下さい。
- 2、交付金区間の基礎コンクリートは、18-8-40BBとし、鉄筋金網(SD295A D13 250×250)を基礎の中央に入れて施工して下さい。
- 3、開口部はφ600とし、補強鉄筋を入れ、写真で確認できるようにして下さい。
- 4、直接水替工はφ50のポンプとしています。湧水が認められない場合は、減工します。
- 5、クレーンヤードは、任意仮設とします。

第3条 周辺環境(施工に関する注意事項)

- 1、現道の復旧に当り、路肩高の変動は、許容しないものとします。事前に路肩の高さも起工測量行い提出して下さい。
- 2、田排水工(取付工)の排水柵の設置位置・設置高は、発注者立会いのもと各地権者にそれぞれ協議を行ったうえ施工して下さい。また協議内容は、提出して下さい。
- 3、施工延長については、変更の可能性があります。

第4条 その他

- 1、ボックスカルバートの施工延長は、変更の可能性があります。

第5条 疑義

- 1、疑義を生じた場合は、協議してこれを決める事とします。